



## 平成29年度 まち・ひと・しごと創生総合戦略推進にかかる施策方針

まち・ひと・しごと創生総合戦略の着実な推進を目的として、今年度における都市整備部の基本方針および重点的に取り組む項目を次のとおり定め、着実に推進します。

平成29年5月11日

都市整備部長 安原俊憲

### I 基本方針

- 1 道路施設の長寿命化や身近な生活道路の修繕を行い、安全・安心な道路環境整備の推進に努めます。また、街路樹への花木の植栽や道路の清掃を行うとともに、道路空間の美化保全を市民協働で取り組み、日本一美しい魅力あるまちづくりを推進します。
- 2 河川や雨水幹線の整備、田んぼダムの推進による洪水被害の軽減を図り、市民が安心して住み続けることができる水害に強いまちづくりを推進します。
- 3 老朽化した農業用排水路の更新整備と集落道の拡幅等の整備を行なうことにより、農地の集積・集約化を加速し、効率的かつ安定的な農業経営を目指します。
- 4 継続的な森林経営のための基盤整備と併せて、里山環境保全のための森林保全整備に取り組みます。
- 5 北陸新幹線整備事業の着実な推進を図るため、国や県、鉄道・運輸機構に対して地元の声に誠意ある対応をとるよう強く要請するとともに、地域振興を目的とした多岐にわたる地元要望についても、真摯な対応に努めます。
- 6 地域資源を活かした都市計画・土地利用を推進し、快適で市民が誇りのもてる美しいまちづくりに努めます。また西山公園を中心とした賑わいのある中心市街地の形成を推進します。
- 7 市営住宅ストック総合改善事業の計画的実施や木造住宅の耐震化を促進し、安全・安心で、魅力的な、住みたくなるまちの創造に取り組みます。
- 8 安全でおいしい水を安定して供給するために、地震等災害に強い水道施設の整備に取り組みます。また、余剰施設の廃止を行い、水道事業経営の健全化を図ります。
- 9 公共下水道および農業集落排水への接続推進や合併浄化槽の設置促進を図り、公共用水域の水質保全に取り組みます。また、的確な経営状況の把握と適正な資産管理に努め下水道事業経営の健全化を図ります。

## II 重点的に取り組む項目と具体的な目標

### 1. 安全安心な道路環境とまち美化の推進

安全・安心な道路環境とするため、長寿命化修繕計画に基づき道路施設の適正な維持管理に努め、快適な歩行空間の整備や街路樹への花木の植栽、道路の清掃に取り組みます。また、冬期間の安全を確保するため、消雪施設の適正な維持管理に努めます。さらに、道路・河川の里親制度を普及し、市民とともに道路の美化に努めます。

◆ 橋梁寿命化事業（6m以上の修繕工事の実施）	2橋
◆ 消雪水源施設点検整備	4箇所
◆ 快適な歩行空間整備延長（メガネストリート）	800m
◆ 道路美化延長（スイーパーによる道路清掃）	10,000m
◆ 街路樹の花木（ガザニア）の適正管理延長	1,300m
◆ ガザニアの植栽（上水道管理センター）	20m <sup>2</sup>
◆ 道路・河川里親の新規登録数（H28年度末 登録数40件→41件）	1件

### 2. 災害に強い河川等の整備

都市機能の充実したまちを実現するため、河和田川・吉野瀬川の改修に努めるとともに、鯖江市総合治水基本計画を基本に、雨水幹線等（御幸神中一号雨水幹線・日之出舟津雨水幹線、柳二号雨水幹線など）の整備を行います。また、冠水の原因を調査・検討し、解消に繋げ、水害に強いまちづくりに努めます。さらに田んぼダムを整備し河川の負担軽減に努めます。また、県と連携して土砂災害防止施設整備を促進します。

◆ 河川施設の整備延長（H28年度末 整備率59.6%→59.7%）	40m
◆ 河和田川改修についての説明会	2回
◆ 雨水幹線・支線排水路の整備延長（H28年度末 整備率45.0%→45.2%）	740m
◆ 冠水箇所の調査・解消方法の検討	5箇所
◆ 田んぼダム整備面積	120ha
◆ 湛水防除事業の計画策定（北中山地区）	12月
◆ 土砂災害防止施設の整備促進 （新規採択：小谷川、上谷川 早期完成：西出川、毘紗川）	4箇所

### 3. 農業生産基盤の更新整備の推進

生産基盤の老朽化に伴う維持管理費の軽減および生産効率の向上を図るため、老朽化した農業用排水路の更新整備と集落道の整備を実施します。

◆ 農業用排水路更新整備延長	600m
◆ 集落道整備延長	2,000m

### 4. 林業生産基盤整備の推進

森林は、水源涵養や生態系保全、里山としての市民の憩いの場といった様々な機能を有しており、その機能を維持発揮するため、効率的な林業経営に資する林道などの基盤整備および自然環境や生態系に配慮した森林保全整備を実施します。

◆ 林道の保全（パトロール・草刈等）	36km
◆ 林道の整備（路線改良・排水改良）	1,000m
◆ 森林景観の再生（雑木伐採・抵抗性松植栽等）	2地区

## 5. 北陸新幹線の着実な推進

北陸新幹線整備事業は、敦賀までの延伸が3年前倒しされ事業工程が大変厳しい状況です。市民との協議が十分に行われるよう、鉄道・運輸機構や県と地元との関係の調整を図ります。また、沿線集落からの要望については市の整備計画に基づき計画的に実施し、用地協議や工事が円滑に推進されるよう努めます。

◆ 沿線集落との調整会議	5回
◆ 先行事例視察（沿線住民対象）	1回
◆ 市民への広報紙等での情報提供	2回

### 6-1. 適正な都市計画・土地利用の推進

土地適正化計画を推進するとともに、適正な都市計画・土地利用を図るため、都市計画道路および用途地域の見直しに取り組みます。

◆ 道路・土地利用等の都市計画に関する説明会の開催	3回
◆ 仮称「西山公園・鯖江IC」連絡道路の計画策定	3月
◆ 用途地域の見直し検討	3月

### 6-2. 魅力的な居住空間・生活空間の創造

良好な生活環境を整えるため、景観形成を推進し歴史や自然が調和したまちづくりを推進します。また西山公園一体が市民に愛される憩いの場となるように活性化と魅力の向上に努めます。

◆ 道の駅「西山公園」来館者数	50万人
◆ 西山動物園来園者数	23万人
◆ 屋外広告物の是正	4箇所
◆ 公園里親の新規登録数（H28年度末 登録数83件→90件）	7件
◆ ポケットパーク整備	3箇所
◆ JR鯖江駅周辺景観整備	2箇所

## 7. 安心して快適に暮らせるまち、住みたくなるまちの創造

市営住宅の長寿命化工事、民間木造住宅の耐震化支援を通じ、安全・安心なまちづくりを推進します。また、若者が安心して住み、子育てができるよう住環境への支援を行うとともに、空き家マッチングプロジェクトにより、都市部からの企業や人の流入を促し、若くて元気なまちづくりを促進します。さらに、「アジア建築学生国際サマールワークショップin鯖江」の開催支援を機会に、市の知名度を国内外に発信します。

◆ 市営住宅ストック改善事業件数	1件
◆ 木造住宅の耐震改修戸数	3戸
◆ 住宅リフォーム、購入支援	5件
◆ 空き家マッチング広報活動	5回
◆ 空き家リノベーション支援	5件
◆ アジア建築学生国際サマールワークショップ開催	8月

## 8. 安全でおいしい水の安定供給

災害時における重要施設や避難施設への給水を確保するため、重要管路において耐震管路の整備を行います。また、効率的な事業経営を図るため余剰施設の廃止を行います。

◆ 耐震管路の整備延長 (H28年度末 整備率58.8%→59.9%)	790m
◆ 余剰施設の廃止	1件

## 9. 下水道の普及促進

公共下水道および農業集落排水への接続の推進に努め水洗化の向上を促進するとともに、認可区域外等に合併処理浄化槽の設置促進を図ることで、公共用水域の水質保全ならびに市民の生活環境の改善に努めます。特に、水洗化については、接続率の低い東部地区を中心に促進に努め経営健全化を図ります。また、不明水家屋調査を実施し、誤接続等の指導改善を行います。

◆ 下水道新規接続の推進	
・ 公共下水道水洗化の人口増加数 (H28年度末 接続率93.5%→93.7%)	120人
・ 農業集落排水水洗化の人口増加数 (H28年度末 接続率91.0%→92.0%)	150人
◆ 合併浄化槽の設置基数	40基
◆ 未接続宅に対する接続依頼訪問戸数	200戸
◆ 不明水家屋調査の実施戸数	100戸